目標解答時間 15分

＿＿＿月＿＿＿日

内容理解（中文） Comprehension (Mid-size passages)

次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

今は学校でも新聞を活用した授業を取り入れていく動きがあります。以前から学校や先生によっては新聞を使った授業を取り入れていたのですが、最近になってそれがきちんと学習指導要領(注1)に組み込まれるようになったのです。

ですから学校の先生たちはみな、新聞を活用した授業をするようになりました。

子どもたちが新聞に興味を持ち、新聞を通してさまざまな力を身につけていけるようサポートする授業が行われるようになったのです。

これはメディア・リテラシーを身につけさせるための取り組みです。メディア・リテラシーとは新聞をはじめとするメディアを読み解く力、読解力です。

たとえば、読解力があまりない場合、ひとつのメディアが言っていることを全面的に信じてしまい、その情報だけに左右される人間になってしまいます。

でもいくつかのメディアを比較できれば「事実はこうだが、これにたいする意見は3つある」というように、物事を整理してとらえることができます。

メディアが伝える真意(注2)をつかむ、あるいは各メディアの立場を理解したうえで、その主張を把握したり、自分なりの判断をする。このようにメディアを読み解く力がメディア・リテラシーなんですね。

メディア・リテラシーを身につけるには、何といっても新聞を中心にして鍛(注3)えるのが一番です。新聞を読まずに、テレビだけで情報を得て、鍛えようと思っても、メディア・リテラシーは身につかないと私は思います。

（齋藤孝『新聞力　できる人はこう読んでいる』筑摩書房による）

（注1）学習指導要領：学校教育法に基づく各学校での教育課程の基準
（注2）真意：本当の気持ちや意味
（注3）鍛える：しっかり練習をして身につける

LIVEWORKSHEETS

1 これとは何か。

1 新聞を活用した授業が、教育課程の基準に組み込まれたこと

2 学校の先生が授業で、自由に新聞を使えるようになったこと

3 新聞を通して知識を身につけることで、新聞に興味(きょうみ)を持たせること

4 先生が子どもたちに、新聞が読める力を身につけさせること

2 筆者は、メディア・リテラシーを身につけるとどうなると考えているか。

1 読解力が高くなり、新聞に書かれている内容を正しく理解できるようになる。

2 メディアの情報を比較、整理し、自分なりの判断ができるようになる。

3 メディアが言っていることを疑うようになり、自分で調べようと思うようになる。

4 どんな情報にも左右されず、自分で考えて判断ができるようになる。

3 筆者の考えに合うものはどれか。

1 メディア・リテラシーを子どもに身につけさせるには、教育現場での教師の協力が絶対的に必要である。

2 メディア・リテラシーを身につけるには、テレビやラジオ、新聞などのメディアをバランスよく活用することが大事である。

3 メディア・リテラシーは、テレビのニュースを見るだけでは身につかず、新聞を活用することが最も効果的である。

4 メディア・リテラシーは、読書をすることで自然と身につくものなので、無理に新聞を読ませようとする必要はない。

LIVEWORKSHEETS

(2)

なぜ、話したくないのにしゃべり続けてしまうのでしょうか。それには、主に２つの心理状態が影響しています。

１つ目は、相手に自分のことを知ってもらいたいときです。いわゆる「承認欲求」が強まっているときになります。とくに、自分に自信が持てないときは、ついつい自分を大きく見せてしまいます。価値のある人間だと認めてもらいたい気持ちが強くなるのです。雑談(ざつだん)(注１)の相手によっては、好かれたい、嫌(きら)われたくない、と強く思いすぎてしまうこともあるでしょう。

（中略）

２つ目は、沈黙(ちんもく)(注２)に恐怖を感じすぎているときです。

沈黙(ちんもく)することを極端(きょくたん)(注３)に恐れるあまり、必要以上にしゃべりすぎてしまったことはないでしょうか。このような人は、ある意味、相手をよく観察しながら頑張(がんば)って話をしているのだと思います。相手からポジティブな反応が出るまで、延々と話題や表現を変えながら、なんとか話を続けて間を持たせようとしているのです。

しかし、その話にはまとまりがなかったり、同じ話を何度も繰(く)り返(かえ)していたりするので、決して相手にとって心地(ここち)(注４)いい時間にはなりません。しゃべりすぎは、ネガティブな結果にしかつながらないのです。

また、あなたがしゃべりすぎたぶん、相手が話をする時間を奪(うば)ってしまっていることを、忘れてはいけません。相手があなたにどうしても伝えたいことがあったのに、時間がなくて話せなくなり、不満を抱えてしまうこともあります。

（東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/430663?display=b> 2021年6月4日による）

（注１）雑談：テーマのないおしゃべり
（注２）沈黙：黙(だま)ること。話さないこと
（注３）極端：ここでは、これ以上ないくらい、非常に
（注４）心地：気持ち。気分

LIVEWORKSHEETS

1 話したくないのにしゃべり続けてしまう1つ目の原因として、合うのはどれか。

1 相手に自分のすべてを知ってもらえないと不安になってしまうから

2 自分が価値のある人間だと認められたいという意識が働くから

3 相手の偉そうな態度に負けないように自分を大きく見せる必要があるから

4 話し相手から嫌(きら)われると、自信が持てなくなってしまうから

2 このような人、とはどのような人か。

1 自分が相手よりしゃべりすぎてしまうことを恐れている人

2 会話を続けようと必死になり、相手を怖がらせてしまう人

3 誰も何も話さない状況を避けようと、話し続けてしまう人

4 同じ話題について、表現を変えて何度も話すのが好きな人

3 筆者の考えに合うのはどれか。

1 話がうまくまとめられない人は話が長くなりやすい。

2 自分だけが話しすぎてしまうと相手にとってマイナスにしかならない。

3 相手に特に大事な話がなければ、話し続けても問題はない。

4 どちらか片方が話しすぎると、必ず相手に不満を抱かれてしまう。

LIVEWORKSHEETS

(3)

以下は、日々カウンセリングをしている精神科医が書いた文章である。

毎年、2月も中旬がすぎると、診察室はいつも以上に落ち着かなくなってくる。①子どもの受験の結果が出たり、仕事の異動(注1)の内示(注2)があったりと、変化の時期がやって来るからだ。

もちろん、「うれしい変化」もある。「合格」「採用」という言葉をうれしそうに口にする人を見ると、こちらも「よかったですね！」と笑顔になる。しかし、人生には「うれしくない変化」「悲しい変化」もいっぱい。「昇進(注3)試験に不合格でした」「プロポーズしたらフラれました」などと言って肩を落(注4)とす人も少なくない。

私は、その「マイナスの変化」を経験した人に言う。「いや、まだ悲しむのは早いですよ。何年か先には“あのとき失敗してよかった”と思う日だって来るかもしれないじゃないですか」。私自身、大学入試では第一志望に不合格で、実は受かったのはあまり気が進まなかった医療系大学だけ。「本当は医者になりたくなかった」などと言うと怒られそうだが、学生時代は「②自分は失敗者」とずっと思い込んでいたのだ。

しかし、あれからもう30年以上。今では、「あのとき第一志望に入っていたら精神科医にはなれなかったんだ。これでよかった」と心から思う。ほかにも長く生きていれば、失敗、挫折(注5)と思ったことがきっかけでその後、良い出会いやチャンスにめぐりあった経験などいくらだってある。

そう、まさに「災いを転じて福となす(注6)」。そんなことを診療室で言うと、「ショックです」と涙を流していた相談者も、「先生、ことわざを持ち出すなんて医学的じゃないよ」と吹き出す(注7)。そんなとき、私はまじめな顔で言う。「これは医者としてではありません。50年以上生きてきた人生の先輩として言っているのです」。そう、失敗や挫折こそハッピーの生みの親。私は本気でそう思うのだ。

(香山リカ『大丈夫。人間だからいろいろあって』新日本出版社による)

(注1) 異動：職場での地位や部署が変わること
(注2) 内示：非公式に通知すること
(注3) 昇進：職場での地位が上がること
(注4) 肩を落とす：がっかりする
(注5) 挫折：仕事や計画が途中でだめになること
(注6) 災いを転じて福となす：災難や失敗を利用して成功するという意味のことわざ
(注7) 吹き出す：ここでは、笑うという意味

LIVEWORKSHEETS

1 ①2月も中旬がすぎると、診察室はいつも以上に落ち着かなくなってくるとあるが、なぜか。

1 子どもの進路について悩む親が増える時期だから

2 転職を希望する人が相談に来る時期だから

3 変化を受け入れられない人が出てくる時期だから

4 マイナスの経験をする人が一年で一番多くなる時期だから

2 筆者が、②自分は失敗者と思っていたのはなぜか。

1 失敗して良かったと認めてしまったから

2 志望する大学に合格できなかったから

3 医者になれなかったから

4 失敗と挫折を繰り返したから

3 筆者の考えに合うのはどれか。

1 将来、失敗してよかったと思う日が必ず来る。

2 失敗や挫折の後には必ずいい出会いがある。

3 医学的説明だけでは相談者を救えない。

4 失敗や挫折から生まれる幸せがある。

LIVEWORKSHEETS